

6 情報暴力団と洗脳教育

この第一部の目的を明確にする為、予め言葉の整理を行っておく。子供達や大衆を導く立場にある権威、権力、マスメディアの関係者を「指導的立場にある者」と云う。また、子供達や大衆が不利益を被ろうとも、指導的立場にある者が権益を守り抜こうとする心根を「性悪」と云っておく。そして、第一部の目的は、指導的立場にある者達の性悪を科学的に、然も大衆にも分かる様に証明することである。

当会は、これ迄に「競争はゴールを一つにしなければ成り立たない」という常識に基づいて従来 of 学問の間違いを証明してきた。ただし常識と雖も、これは宇宙の真理（仕組み＝原理・原則）であることに注意せよ。すなわち、「大衆も周知の原理的な事柄」について「全ての学者の考え方が間違っていた」ために「従来 of 学問の基礎が破綻」という証明が登場したのである。

さて、上記の全学者達の幼稚な間違いは通念に従わない。そして、指導的立場にある者達にしても、これを認めれば無知の露呈、或いは権威の失墜となろう。このところが、指導的立場（すなわち権益）を守ろうとする者達と、当会との対立原因であったと推察する。その為であろうか、指導的立場にある者達は弾圧によって新原理を葬り去った。まさに「暴力に拠る情報操作」である。しかし、対立した相手は当会でなく、宇宙の真理や人類の知的財産であったのである。結果、天に向かって唾を吐くが如し、指導的立場にある者達の性悪が、世界中の子供達に対する洗脳教育、学問の発展の妨害、国際社会に対する情報操作などの形（科学的証明）で大衆の目の前に引き摺り出されたのである。

そもそも、人間の考え方や力でもって宇宙の真理（仕組み＝原理・原則）から逃れたり、それを葬り去ることなど不可能である。この注意を促しておき、更にアインシュタインの相対性理論の間違いを大衆にも分かる様に証明し、指導的立場にある者達の性悪の科学的証明を積み重ねておこう。

ニュートリノの実験と相対性理論のニュース（2011年9月～）

OPERA（国際研究グループ）がニュートリノの実験を行った。そして、この実験は相対性理論の否定か！？とのニュースになって世界を駆け巡った。

※ ニュートリノは光より速い？（9月23日 NHKニュース）

- > 名古屋大学が参加した国際研究グループによる実験で、素粒子の1つニュートリノが光より速いという結果が出たと発表されました。アインシュタインの相対性理論では、質量のある物質は光より遅いとされるため、これと矛盾する実験結果として今後、議論を呼びそうです。
- > この実験はCERN＝ヨーロッパ合同原子核研究機関など、各国の研究機関で作る国際研究グループが行ったもので、日本からは名古屋大学などが参加しています。…後略…

※ ニュートリノ検証協力呼びかけ (9月24日 NHKニュース)

- > 国際研究グループによる実験で、素粒子の1つ「ニュートリノ」の速度が光より
- > 速いという結果が発表され、これがアインシュタインの相対性理論と矛盾するこ
- > とから、研究グループでは、世界の科学者に実験結果の検証への協力を呼びかけ
- > ています。
- > この実験は、ジュネーブ郊外にあるCERN=ヨーロッパ合同原子核研究機関な
- > ど、各国の研究機関で作る国際共同研究グループが行ったもので、実験結果は、
- > 23日、正式に発表されました。…後略…

上記のニュースが流れる以前に当会は「速度比較の原理」を始め幾つかの新たな原理や原則を発表し、従来の学問基礎の間違いを証明していた。そこで、当会の長屋修はNHKニュース(24日)の呼びかけに応じ、下記の投稿を行った。

件名: 「光より速い素粒子」は誤りか

長屋修よりNHK宛て(9月24日)

- > 「件名」に関する投稿をさせていただきます(2011.09.24)。相対性理論の間違いに
- > つきましては、初等教育(学問の出発点)にまで遡った実験かつ原理的な検証が
- > 必要です。詳細は、【世界規模の間違い <http://st-nagaya.jp/>】に掲載していますか
- > ら、お手数ですが、国際研究グループへお知らせ下さい。

ニュートリノの再実験(2012年2月～)

※ 「光より速い素粒子」は誤りか(2月23日 NHKニュース)

- > 去年9月に発表され、アインシュタインの相対性理論と矛盾するものとして大き
- > な議論を呼んだ「素粒子の1つ、ニュートリノは光より速い」とする実験で、機
- > 器に問題があったことが明らかになり、実験結果が誤っていた可能性が出てきま
- > した。…中略…
- > この実験結果は、「光よりも速いものはない」とするアインシュタインの特殊相
- > 対性理論に矛盾するもので、去年9月に発表されると世界の研究者から大きな注
- > 目を集め、賛否の議論が巻き起こりました。…後略…

件名: 「光より速い素粒子」は誤りか

長屋修よりNHK宛て(2月26日)

- > サイエンスZEROの番組を見させていただきました。2月23日の各紙も見ま
- > したが、「相対論は正しい」という観点の報道になっていて、これでは理論と戦
- > う者達の意気込みが削がれます。せめて「相対論に対する理論的反証も提出され

> ている」という様なニュアンスでも含まれていれば、と思いました。私達の目的
> は日本発の、従来の物理学の原理的間違いの証明であり、それにより枝葉に位置
> する相対論は自動消滅します。しかし、上の様な風潮では相対論の反証も必要か
> と思い、「世界規模の間違い <http://st-nagaya.jp/>」の第二部 [物理法則の不変基
> 礎] 末尾に備考を設け、かかる反証を掲載しました。お手を煩わせますが再度、
> 「ニュートリノ検証協力呼びかけ (国際研究グループによる実験)」の方々様に
> ご連絡をお願い致します。

件名: 「国際研究グループ」の検証協力呼びかけ

長屋修よりNHK宛て (3月6日)

> NHK各位。お世話頂きまして有り難うございます。
> 【物理法則の不変基礎 <http://st-nagaya.jp/j6.pdf>】の末尾の備考欄をご覧ください
> ますよう「ニュートリノ検証協力呼びかけ (国際研究グループによる実験)」の
> 皆様に、ご連絡をお願いいたします。尚、この備考欄の内容は、莫大な費用をか
> けた超精密実験の結果であっても、その結果を理論づけする際の考え方が間違っ
> ていれば何もならない、という大変重要な教訓です。

OPERA、NHK、テレビ朝日、AFPらの情報操作 (2012年6月)

では、アインシュタインの考え方や相対性理論の根源的な間違いを、常識に基づいて大衆にも分かる様に説明しておこう。

相対性理論の構築にあたっては、例えば宇宙空間で互いに慣性航行している宇宙船とロケットを用意しなければならない。そして、宇宙船の床と天井には鏡を設置されていて、鏡の間に光が放たれ、その光は同一経路を辿って往復運動を繰り返している。他方のロケットでは、宇宙船の光の往復運動を、光のジグザグ運動として観測している。ここで、光を折り曲げるときに鏡が必要なことは、大衆も周知の宇宙の原理 (常識) である。ところが、アインシュタインは、鏡が設置されていないロケットでジグザグに折れ曲がって観測される光を現実本物と思い込んで相対性理論を展開した。すなわち、相対性理論の根源的な間違いである。より詳しくは第二部の論文 (物理法則の不変基礎) を参照されたい。

※ 「アインシュタインは正しかった」 (6月8日 AFP国際ニュース)

> ニュートリノ「超光速」は誤り CERN
> ニュートリノに関する国際共同実験「OPERA (オペラ)」の科学者チームは素
> 粒子ニュートリノは光より高速とした前年の発表は誤りだったと認めた。京都
> で開催中のニュートリノ・宇宙物理国際会議 (International Conference on
> Neutrino Physics and Astrophysics) で明らかにした。…中略…

＞ 実験装置による誤差などを考慮し実験データを見直した結果、ニュートリノの速度は光を超えないことを確認したという。

※ アインシュタイン正しかった…実験結果誤りと発表（6月8日 テレビ朝日）

＞ 去年9月、「光よりも速いものはない」というアインシュタインの特殊相対性理論を否定する実験結果が発表されて大きな話題となりましたが、実はその実験結果が誤りであったことが発表されました。訂正したのは、名古屋大学などが参加する国際研究グループ「OPERA」のメンバーです。8日、京都市で開かれた国際会議で正式発表しました。…後略…

情報暴力団：優良放送番組推進会議

これ迄の経緯に拠れば、OPERA、CERN、NHK、テレビ朝日、AFPらは相対性理論の間違いの証明に対する反証を提示せず、よってアインシュタインは正しかったとする「矛盾の結論（情報操作）」を下したことは自明である。

ところで、指導的立場にある者達が上記の様な矛盾の結論を下したからには相当の理由があった筈、と誰しも思う。そのために当会の長屋修は下の通り、関係方面に対して説明を求めた。

件名: ニュートリノの実験とNHKらの情報操作

差出人: 長屋修 < standard@st-nagaya.jp >

宛先: 優良放送番組推進会議 < info@good-program.jp >

送信日時: 2012年6月23日 2時46分

＞ 優良放送番組推進会議 様、
＞ ニュートリノの実験と相対性理論の問題に関し、OPERA、CERN、
＞ NHK、テレビ朝日、AFPらが情報操作を行った。
＞ 真実を伝えてください。事件の詳細は、
＞ 【ニュートリノの実験とNHKらの情報操作 <http://st-nagaya.jp/doom4.pdf>】を、
＞ ご覧ください。

件名: ニュートリノの実験とNHKらの情報操作

差出人: 長屋修 < standard@st-nagaya.jp >

宛先: 優良放送番組推進会議 < info@good-program.jp >

送信日時: 2012年9月10日 11時49分

＞ 優良放送番組推進会議 各位
＞ ニュートリノの実験と相対性理論に関する貴方方の「矛盾の結論」の発表について
＞ の説明を求めました。しかし、何の説明もありません。
＞ 詳細は、【 <http://st-nagaya.jp/doom4.pdf> 】をご参照。

- > 貴方方の名誉にかけて2012年11月11日迄に、かかる説明を
- > 提示してください（大衆にも分かる様、公開討論にてお願いします）。

件名: 通告

差出人: 長屋修 < standard@st-nagaya.jp >

宛先: 優良放送番組推進会議 < info@good-program.jp >

送信日時: 2012年11月14日 22時18分

- > 優良放送番組推進会議 様、
- > 当会は【 <http://st-nagaya.jp/doom4.pdf> 】の通り再三かかる説明を求めてきました
- > が、無駄に終わりました。よって今後、貴方方を「情報暴力団」と呼び、その使
- > 命や責任を追及します。なお、この詳しい内容は大衆にも分かる様、HPに掲載
- > しておきます。

※件名: Re: 通告

差出人: 優良放送事務局インフォメーション < info@good-program.jp >

宛先: 長屋修 < standard@st-nagaya.jp >

送信日時: 2012年11月15日 11時21分

- > 学問の会 数学部門統括 長屋修 様
- > 優良放送番組推進会議事務局でございます。
- > メールをいただきありがとうございます。
- > 失礼とは思いますが、
- > ご連絡をいただいたメールの内容で、
- > 伺いたい点がございましたのでご連絡いたします。
- >
- >>再三かかる説明を求めてきましたが、
- >>無駄に終わりました。
- >
- > 上記の「説明を求めてきましたが」という事ですが、
- > 事務局としては、大変に申し訳ないのですが、了解しておらず
- > どのような形で、どのような事の説明を求められたのでしょうか。
- > ご説明をいただければと考えております。
- > お忙しいところ、お手数ですが
- > 何卒、よろしく願いいたします。

件名: 情報暴力団

差出人: 長屋修 < standard@st-nagaya.jp >

宛先: 優良放送事務局インフォメーション < info@good-program.jp >

送信日時: 2012年11月21日 15時41分

- > 優良放送番組推進会議 各位。
- > お問い合わせの件につきましては、下に双方のメールを添付しておきます。
- > ちなみに、【世界規模の間違い <http://st-nagaya.jp/>】をご覧ください。
- > 本事件の重大さは一目瞭然です。「情報暴力団」の記事は、その一部です。

件名: 情報暴力団

差出人: 長屋修 < standard@st-nagaya.jp >

宛先: 優良放送事務局インフォメーション < info@good-program.jp >

送信日時: 2013年1月27日10時46分

- > 優良放送番組推進会議 各位。
- > お問い合わせの件 (2012.11.15) につきましては、
- > 【世界規模の間違い <http://st-nagaya.jp/>】をご確認いただきました。そして、有
- > 馬朗人委員長や月尾嘉男事務局長は既に事の重大さをご認識されていることと思
- > います。
- > 従来 of 学問は「相対概念」のみで成り立っています。しかし、新発見の「速度比
- > 較の原理」により、学問に「絶対概念」が導入されます。然も、新原理は世界共
- > 通の常識として初等教育の範疇にあります。すなわち、従来 of 学問とは出発点が
- > 異なり、後に導かれる理論も異なってきます。また、これは世界共通の学問であ
- > ることから、各国の学者間の協議も必要になるでしょう。更に、教師の頭や教科
- > 書を切り替えなければなりません。大事業です。人類の未来の為に有馬委員長や
- > 月尾事務局長のお力が必要です。それから、日本の学問の基礎はいわば輸入もの
- > ですが、ここに立場が逆転します。世界をリードする日本、学問分野における日
- > 本の底力も世界にお示しめしいただきたい (ご返事を頂ければ幸いです)。
- > 蛇足ですが、私達は、学問および世界中の子供達の敵、洗脳教育を続行・容認す
- > る者や組織に対し「情報暴力団」のレッテルを張り付け、公表、糾弾します。さ
- > らに、関係方面にも通知の上、本事件を黙止すれば、情報暴力団に与する者や組
- > 織として同様に糾弾します。 2013年1月27日

国賊：有馬朗人 (ありまあきと)

優良放送番組推進委員会委員長の有馬朗人氏は東京大学総長や文部大臣などを歴任しており、業績や功績は兎に角すごい…！ここに、いちいち列挙するより各人に調べてもらうことにするが、有馬氏の受賞歴を見ておこう。

日本国内の受賞歴は、文化功労者旭日大綬章、文化勲章、日本学士院賞、仁科記念賞などである。

外国の受賞歴は、レジオン・ドヌール勲章 (仏)、ボナー賞 (米)、ドイツ連邦共和国功労勲章、フンボルト賞 (独)、フランクリン・インスティテュート・ウエザリル・メダル (米)、大英帝国勲章などである。

注意事項である。世界中の子供達への洗脳教育を第一に、本HPにある事件の全ては速度比較の原理の正誤の問題に帰着する。然も、有馬氏にとって速度比較の原理の正誤の判定は容易い事項である。

さて、人の立場にはあたかも天秤にかけたが如くそれ相当の責任が伴う。有馬氏の数々の受賞は学問の発展に関する功績の証である。ところが、有馬氏は新たな速度比較の原理を反証もせず葬り、よって学問の発展を妨害した。その上、洗脳教育の犠牲になっている世界中の子供達を見殺しにしている。言語道断、この非人道的な行為は賞の趣旨を蔑ろにし、各国および関係機関のいわゆる体面を踏みにじているのである。国内の賞にしても同様、日本の体面を踏みにじている。

上の事実を諸外国が知れば「日本人は性悪」と思うに違いない。まさに有馬朗人は日本の恥晒し、国賊に他ならない。

国賊と日本の主要企業

国賊：有馬朗人は現在、電力会社や原発メーカーのトップが集まる「エネルギー原子力政策懇談会」の会長を務めている。そして、情報暴力団「優良放送番組推進会議」の会員には日本の主要企業が名を連ねている。

国賊：有馬朗人を企業が支えているといっても過言ではない。各企業は、国賊や情報暴力団と袂を分かつか、このまま関係を続けるか、社会的立場に沿うべき方針を表明する必要がある。ちなみに、かかる方針の速やかな表明がなき場合、国賊や情報暴力団に与することになるため注意されたい。 —2013.06.23 学問の会—

件名: 国賊と日本の主要企業

差出人: 長屋修 < standard@st-nagaya.jp >

宛先: ○○○○○

送信日時: 2013年7月○日

> ○○○○○各位。

> 学問の会は、「貴方方は情報暴力団：優良放送番組推進会議の会員である」また「国賊：有馬朗人に与している」旨の忠告をしてきました。詳細は、

> 【情報暴力団と洗脳教育 <http://st-nagaya.jp/doom4.pdf>】をご参照。

> 貴方方は忠告に耳を傾けませんでした。その為2013年10月1日をもって
> 貴方方を、*学問の発展の妨害と世界中の子供達への洗脳教育、に与する反社会的企業として公表します。その根拠を下にまとめておきます。

> I：速さ（速度）を比較する際、ゴールを一つに限定しなければならないのは
> 子供でも知っている経験事実であり、これを「速度比較の原理」と呼ぶことにした。そして、*本事件は速度比較の原理の「正誤」の問題に帰着する為、その検証は最重要課題である。先ず「誤」の証明だが、これは経験事実と矛盾するから成立しない。従って「正」であり、「速度比較の原理は人類の知的財産」である。

- > II : 次に、速度比較の原理の「黙殺」について論じておく。この場合、確かな
- > ことは黙殺の事実だけである。
- > III : 速度比較の原理は誰もが日常使っている経験事実である。そして、速度比
- > 較の原理は*本事件の要となっている。従って、速度比較の原理を黙殺し
- > た事実は、必然的に*本事件を容認する行為となる。
- > という事実関係が既に成り立っています。
- > 速度比較の原理は誰もが常に使っていて、説かれれば、子供でも知っている経
- > 験事実です。この原理がなければ日常生活は成り立ちません。従って、速度比較
- > の原理の黙殺は、*本事件を積極的に支持するとともに、人類の未来をねじ曲げ
- > ているのです。更に言えば、日本の主要企業の立場および日本人の発見である原
- > 理という意味において、かかる黙殺の事実は、国際社会に対する背信行為に他な
- > りません。
- > …。

◇企業名一覧（2015年4月1日現在）

下の企業名一覧表は、優良放送番組推進会議の会員構成から採録したもの。

旭化成株式会社

7月10日送信 https://www.asahi-kasei.co.jp/asahi/jp/contact_us/contact_us.html

7月10日 csr@om.asahi-kasei.co.jp

出光興産株式会社

7月10日 <https://www.idemitsu.co.jp/cgi-bin/form/contact/jpn/form.cgi?cd=pr>

7月10日 recruit@idemitsu.com

宇宙航空研究開発機構(JAXA)

7月10日 https://ssl.tksc.jaxa.jp/space/inquiries/index_j.html

7月10日 proffice@jaxa.jp

株式会社NSD

2015年2月25日 http://www.nsd.co.jp/inquiry/irinfo_inq.html

2015年2月25日 oss@nsd.co.jp

大阪ガス株式会社

7月10日 <https://cgi.osakagas.co.jp/cgi-bin/ssl/mailshori.cgi?bunya=16>

7月15日 socialhp@osakagas.co.jp

7月15日 og-hukushi@osakagas.co.jp

7月15日 shun-yamagami@osakagas.co.jp

株式会社大林組

7月10日 <https://www.obayashi.co.jp/support/privacy?type=other>

7月15日 csr@ml.obayashi.co.jp

7月15日 Career-saiyo@mb.obayashi.co.jp

7月15日 muto.masumi@obayashi.co.jp

7月15日 obf-zaidan@obayashi.co.jp

鹿島建設株式会社

7月10日 <https://www.kajima.co.jp/contact/index-j.html>

7月11日 pr-csr@ml.kajima.com

7月11日 www-recruit@ml.kajima.com

九州旅客鉄道株式会社

7月11日 webmaster@jrkyushu.co.jp

7月15日 jr.gift@jrkyushu.co.jp

7月15日 n.sugiyama@jrkyushu.co.jp

7月15日 ryoko.kitakyudantai@jrkyushu.co.jp

J X 日鉱日石エネルギー株式会社

7月11日 https://ssl.jx-group.co.jp/ap/ars/other/b21_othe_recept.html

7月11日 recruit@noe.jx-group.co.jp

J F E ホールディングス株式会社

7月11日 <https://www.jfe-holdings.co.jp/cgi-bin/toiawase.php>

7月11日 kankyo@jfe-holdings.co.jp

新日鉄住金株式会社

7月11日 <http://www.nssmc.com/contact/index.html/>

7月11日 saiyou@jp.nssmc.com

新日本科学株式会社

7月11日 info@snbl.co.jp

7月11日 ir@snbl.co.jp

7月11日 energy@snbl.co.jp

住友化学株式会社

7月11日 <http://www.sumitomo-chem.co.jp/contact/>

7月11日 speakup-sougou@ya.sumitomo-chem.co.jp

7月11日 jinjisitu@sc.sumitomo-chem.co.jp

住友商事株式会社

7月11日 <https://www.sumitomocorp.co.jp/info/csr/>

7月11日 sumisho-youth-challenge@sumitomocorp.co.jp

株式会社セブン&アイ・ホールディングス

7月11日 7andi-helpline@integrex.jp

7月15日 <http://www.sej.co.jp/support/inquiry.html>

全日本空輸株式会社

7月11日 <https://cam.ana.co.jp/askana/ServiceGeneralInfo.do>

7月11日 ir@ana.co.jp

7月11日 s.toyoshima@ana.co.jp

第一生命保険株式会社

7月11日 LifeCycleGame2@dl.dai-ichi-life.co.jp

7月11日 saiyou@dl.dai-ichi-life.co.jp

7月11日 kobak@dl.dai-ichi-life.co.jp

大正製薬株式会社

2015年4月14日 a-jinji@so.taisho.co.jp

株式会社大和証券グループ本社

7月11日 recruit@daiwa.co.jp

7月15日 <https://www.daiwa-grp.jp/inquiry.html>

7月15日 shakaikoken@daiwa.co.jp

大和ハウス工業株式会社

7月11日 zaimu@daiwahouse.jp

7月11日 robot@daiwahouse.jp

7月11日 t-jinji@daiwahouse.jp

7月11日 saiyou@daiwahouse.jp

7月11日 renew-info@daiwahouse.jp

武田薬品工業株式会社

7月11日 Takeda_Rec@takeda.co.jp

7月11日 uketsukeg_privacy@takeda.co.jp

7月11日 Takeda_Garden@takeda.co.jp

7月11日 RINGO_T@takeda.co.jp

株式会社竹中工務店

7月11日 https://www.takenaka.co.jp/j_contact/anfrage/

7月11日 tokyoj@takenaka.co.jp

7月11日 soilenvi@takenaka.co.jp

中外製薬株式会社

7月11日 ir@chugai-pharm.co.jp

7月11日 pr@chugai-pharm.co.jp

7月11日 recruit@chugai-pharm.co.jp

東レ株式会社

7月12日 <https://cs2.toray.co.jp/contact/c0212.nsf/inquiry?Openform&&Ja>

7月12日 ir@nts.toray.co.jp

トヨタ自動車株式会社

7月12日 eriko_ota@mail.toyota.co.jp

7月12日 saiyo@tokyotoyota.co.jp

7月12日 am048jp@toyota.co.jp

7月12日 ipdom@toyota.co.jp

日本電信電話株式会社

7月12日 <https://www.ntt.co.jp/contact/form.html>

7月12日 csr@ml.hco.ntt.co.jp

7月12日 pr@nttr.co.jp

7月12日 inlg-pr@lab.ntt.co.jp

日本郵便株式会社

7月12日 https://www.post.japanpost.jp/question/contact_us/opinion.html

7月12日 yuupuri-r-support@info.post.japanpost.jp

パナソニック株式会社

7月12日 crdpress@ml.jp.panasonic.com

7月15日 https://solinq.panasonic.biz/Individual/I_Agreement.aspx?CategoryId=1&BeforePage=http://panasonic.biz/netsys/cgi-bin/camera/tfaq/tbookmarks.cgi

7月15日 global@gg.jp.panasonic.com

東日本旅客鉄道株式会社

7月12日 <https://voice2.jreast.co.jp/>

7月12日 masakazu-ohse@jreast.co.jp

7月12日 sa-okumura@jreast.co.jp

7月12日 q_risu@jreast.co.jp

株式会社みずほフィナンシャルグループ

7月12日 <https://info.www.mizuho-fg.co.jp/Inquiry/MaterialSelect>

7月15日 materialreq@mail.mizuho-fg.co.jp

7月16日 kenichi.sadahiro@mizuho-bk.co.jp

三井物産株式会社

7月13日 https://www.mitsui.com/form/contact_csr.php

7月13日 kyougikaiTKZHI@mitsui.com

7月13日 Kei.Kato@mitsui.com

三井不動産株式会社

7月13日 <https://www3.mitsuifudosan.co.jp/enquete/agreement.php>

7月13日 to-takahashi@mitsuifudosan.co.jp

7月13日 t-mori@mitsuifudosan.co.jp

7月13日 recruit@mitsuifudosan.co.jp

三井ホーム株式会社

7月13日 <https://www.mitsuihome.co.jp/support/sonota/form.php>

7月13日 recruit@mitsuihome.co.jp

7月13日 eco-life@mitsuihome.co.jp

7月13日 tetsuya-tanaka@mitsuihome.co.jp

株式会社三菱ケミカルホールディングス

7月13日 <http://www.mitsubishichem-hd.co.jp/csr/impression.html>

7月13日 ishii.takeshi@mr.mitsubishichem-hd.co.jp

三菱重工業株式会社

7月13日 <https://www.mhi.co.jp/cgi-bin/inquiry/index.cgi?code=00023>

7月13日 masahiro_yamanak@mhi.co.jp

7月13日 kazuki_kirimura@mhi.co.jp

7月13日 takao_nishimura@mhi.co.jp

森ビル株式会社

7月13日 <https://www.mori.co.jp/contact/form.html>

7月13日 koho@mori.co.jp

7月13日 kojin_jyoho@mori.co.jp

株式会社リコー

7月13日 <http://www.rioh.co.jp/SOUDAN/about.html>

7月13日 koho@rioh.co.jp

7月13日 recruit@jrits.rioh.co.jp

追記

従来の教育が間違っていることを、日本語ウィキペディア百科事典（**Wikimedia Foundation**）で確認できる。例えば、「教育」「物理学」「数学」などを調べてみると、そこには太文字で、

【この記事は検証可能な参考文献や出典が全く示されていないか、不十分です】
という断り書きが張り付けられている（関係項目数十件あり）。

※ 本事件は学術論争の類いではない。子供達が十分に知っている日常生活の規範に反する教育を、教育委員会の弾圧や法務省の不法な権力行使によって続行している事件である（子供達を見殺しにするのは虐待行為と同様 2017年1月）。

[目次へ戻る](#)

[7 洗脳教育と大学の立場へ](#)